

2014年3月25日

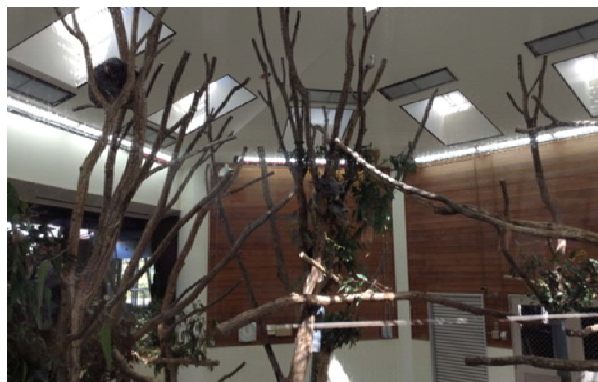
各位

## 積水ハウス株式会社

**飼育員と動物たちの快適な室内環境と、大幅な電力使用量削減を実現**

### 埼玉県こども動物自然公園「ECO-Zoo」整備事業を設計施工

積水ハウスグループの積和建设埼玉株式会社(社長:石井安雄、本社:さいたま市見沼区)は、埼玉県が実施することも動物自然公園の「ECO-Zoo整備事業」の設計施工を担当、「コアラ舎」と「ペンギンヒルズ」のエコ改修を実施し、飼育員と動物たちの快適な室内環境と、大幅な電力使用量削減を実現しました。「ECO-Zoo整備事業」は、埼玉県が2012年より実施する「埼玉エコタウンプロジェクト」の一環として、エコへの関心を高めてもらうために省エネ・創エネの取り組みを行うものです。2013年度の「コアラ舎」「ペンギンヒルズ」エコ改修事業に積和建设埼玉の提案が採択されました。



#### 【コアラ舎の改修内容】

ガス式床暖房設備の設置、電気とガスを組み合わせたハイブリッド空調の導入、太陽光パネルの設置、屋根・壁面全体の断熱改修、複層ガラスの採用、照明のLED化を実施。これらの取り組みで建物全体の断熱性能が高まり、外気の急な温度変化にも左右されにくい室内温度環境がつけられ、飼育員とコアラたちにとって健康・快適な室内環境を実現しました。さらに、約14万kwh/年(一般家庭約40世帯分の年間使用量に相当)の省エネになり、これまでの電力量の約70%を削減できました。

#### 【ペンギンヒルズの改修内容】

太陽光発電パネルを設置し、ペンギンたちが泳ぐプールに波を起こす波動装置で利用する電力の一部をまかないます。発電される電力量は約3,500kwh/年になり、波動装置の消費電力量の約64%に相当します。これは、例えると3回の波のうち2回は太陽光パネルの発電によって造られる波になります。

※両施設の前には説明パネルを設置し、これらの省エネ・創エネの取り組みをこどもたちにもわかりやすく解説しています。

今後は、埼玉県こども動物自然公園と連携し、これらの施設の計画的・継続的活用を通じて、次世代を担うこどもたちをはじめとした来園者の環境意識啓発に取り組んでいきます。